

平成28年度 学校評価(自己評価)シート (武蔵野星城高等学校)

目指す学校像	創立15年を経過した学校にふさわしい教育成果を上げるため、教員一人一人の指導力・実践力をさらに高めるとともに、学校としての指導体制の充実を図る。また、単位制による通信制、登校型を採用する通信制高校として、その特色・魅力を最大限に生かした教育活動を展開し、高い成果を上げる。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 校訓に基づく指導を展開し、生徒の学力の向上・定着を図る。また、平成30年度以降の新しい学校像を創造する。 2 次代を担う人材育成を目指し、協調性豊かで社会性に富んだ人間を育成する。 3 生徒個々の進路希望の把握に努め、高い進路決定率の維持とともに満足度の高い進路指導を実践する。 4 環境美化や安全、健康等に対する意識を高めるとともに、災害発生時の対応力や行動力を高める。 5 Cコースの教育活動を、活動全般にわたってさらに充実させる。 6 研修の機会を増やし、教職員全員が高い意識で修養に励み、学校全体の指導力向上を図る。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(概ね8割以上)
	B	概ね達成(概ね7割)
	C	変化の兆し(概ね6割)
	D	不十分(概ね5割以下)

学 校 自 己 評 価

年度目標			年度評価(3月30日現在)			
重点目標	評価項目	具体的方策	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
	校訓に基づく指導を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ○全校集会やHRなど機会あるごとに校訓について話し浸透を図る。 ○各年次それぞれに、校訓に基づく年間指導計画を策定し指導を行う。 ○全教員が全ての教育活動において校訓を意識しながら指導に当たる。 ○シラバスを作成し、年度当初に全校生徒・保護者に配付する。 ○年度当初にシラバスの活用方法について説明し、各自が学習進度を把握できるように努める。 	<p>機会あるごとに校訓について話し、生徒に浸透できたか。</p> <p>校訓に基づく年間計画を作成したか。</p> <p>全教員が常に校訓を意識し、指導に当たられたか。</p> <p>年度当初に全生徒・保護者にシラバスを配付できたか。</p> <p>年度当初にシラバスの活用について生徒に説明したか。</p>	<p>校訓について話す頻度はそれほど高くなかった。</p> <p>校訓に基づき計画は策定したが、その意味合いを生徒へ伝えることが不十分であった。</p> <p>教員間に共通の指導方針が浸透せず、実践できなかった面がある。</p> <p>シラバスは年度当初に配付された。</p> <p>4月のオリエンテーションでシラバスについて生徒に説明した。</p>	<p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>校訓への意識に変化は見られているが、教員・生徒共に依然として高い水準にはない。次年度はさらに高い意識で指導するように心がける。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p>

<p>単位修得率向上に努める</p>	<p>○丁寧なレポート指導を心がけ、レポートの合格率を向上させるよう工夫する。</p> <p>○レポート内容を精選し、質、量ともに適切な、学習効果の高いレポートを作成する。</p> <p>○再提出のレポートについては、スクーリング以外の時間も活用し指導に当たる。</p> <p>○定期試験の範囲を詳細に示し、生徒が試験に取り組みやすいように工夫する。</p> <p>○定期試験の重要性を常に生徒に伝え、試験に臨む姿勢、態度を育成する。</p> <p>○試験問題の内容を精選し、質、量共に適切な問題を作成する。</p> <p>○教科担当者と連携し、常に自クラスの生徒の出席状況の把握に努める。</p> <p>○スクーリングの出席状況の芳しくない生徒に対しては、家庭と協力し出席を促す。</p> <p>○単位修得の厳しい状態にある生徒に対しては学年全体で連携し指導にあたる。</p> <p>○チャイムと同時にスクーリングがはじめられる体制を遵守する。</p> <p>○再履修該当者の履修指導を徹底する。</p> <p>○再履修科目の出席管理の共有化を進め、担任、教科担当者の連携体制を強化する。</p> <p>○再履修科目のレポート指導は、学年配当科目より丁寧に指導する。</p>	<p>丁寧なレポート指導を行い、レポート合格率が向上したか。</p> <p>レポート内容は学習効果の高いものとなっているか。</p> <p>特に再提出のレポートについては、スクーリング以外の時間も指導を行ったか。</p> <p>試験範囲の明示等、生徒が試験に取り組みやすくなるよう工夫したか。</p> <p>常に試験の重要性を生徒に説き、試験に臨む姿勢、態度を育成できたか。</p> <p>試験問題は、質、量共に適切なものとなっていたか。</p> <p>自クラス生徒の各教科の出席状況を把握できていたか。</p> <p>出席状況の良い生徒に対し、家庭と連携して出席を促すよう努めたか。</p> <p>単位修得が困難であることが予想できる生徒に対して、学年で協力して指導に当たったか。</p> <p>チャイムと同時にスクーリングが開始できていたか。</p> <p>再履修該当者の履修指導を徹底できたか。</p> <p>再履修科目の出席管理の共有化が図れたか。</p> <p>再履修科目のレポート指導を学年配当科目より丁寧に行っていたか。</p>	<p>全体のレポート合格率が向上した。</p> <p>全体として生徒が取り組みやすいレポートとなった。</p> <p>スクーリング以外の時間も積極的に指導を行い効果を上げることができた。</p> <p>試験範囲の明示を工夫し、生徒が取り組みやすくなった結果、試験結果が好転した。</p> <p>試験の重要性を生徒に伝えることができた。</p> <p>試験問題の精選により、生徒が取り組みやすくなった。</p> <p>生徒の出席状況把握に努め、出席管理を徹底できた。</p> <p>家庭との連携により、スクーリング出席状況の芳しくない生徒が改善した例が多かった。</p> <p>単位修得が困難と思われる生徒の単位修得状況が大幅に改善した。</p> <p>概ね達成できた。</p> <p>再履修該当者への年度当初の履修指導が丁寧に適切に行われたが、全生徒の単位修得につながらなかった。</p> <p>再履修該当者の出席率を改善することにつながった。</p> <p>再履修科目の設置時間外も指導を適切に行うことができた。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>チャイムとともにスクーリングが始まることをさらに徹底する。</p> <p>再履修者への履修指導を徹底し、全生徒の単位修得につなげる。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p>
--------------------	--	---	---	--	--

<p>特別活動を充実させる</p>	<p>○全校行事の意義を説き、行事への取り組み姿勢を向上させるよう指導する。</p> <p>○各行事への準備着手を早め、充実した行事になるよう生徒を主導する。</p> <p>○各行事で生徒が主体的に活動できるよう指導し、達成感を得られるようにする。</p> <p>○球技大会をはじめとした体育行事を見直し、活性化をすすめる。</p> <p>○保護者が学校行事に参加する機会を持てる体制作りをすすめる。</p> <p>○姉妹校提携30周年にふさわしい交流・交歓となるよう指導・工夫する。</p> <p>○未来志向の交流を見据え、キャッスル高校との交流の新たな取り組みを検討する。</p> <p>○各部活動の活動頻度をさらに上げ、活発な活動を展開するよう努める。</p> <p>○各種大会出場やコンクール等へ出品し、好成績を収められるよう指導する。</p> <p>○部活動参加率を高めるよう工夫する。</p>	<p>生徒の行事への取り組み姿勢が向上したか。</p> <p>各行事の準備着手を早めることができたか。</p> <p>各行事で生徒が達成感を感じられるよう指導できたか。</p> <p>体育行事を見直し、活性化をすすめられたか。</p> <p>保護者が学校行事をすすめるための体制作りをすすめたか。</p> <p>姉妹校提携30周年にふさわしい交流・交歓となったか。</p> <p>キャッスル高校との交流の新たな取り組みを検討したか。</p> <p>各部活動の活動頻度が上がり、活発な部活動となったか。</p> <p>各種大会・コンクールで好成績を収めることができたか。</p> <p>部活動の参加率を高めることができたか。</p>	<p>例年に比べて積極的に行事に参加する生徒が増えた。</p> <p>全教員に共通の指導方針が浸透し、実践されていた。</p> <p>次年度以降に新たな体育行事の検討に着手することとなった。</p> <p>次年度以降も新たな体育行事の検討を継続する。</p> <p>保護者が学校行事に参加する機会を設けることができなかった。</p> <p>準備段階から例年以上の盛り上がりを見せ、これまでにない交流の機会となった。</p> <p>生徒が前向きに取り組み新たな交流の形を模索できた。</p> <p>各部の活動が活発になり、大会参加や作品の出品がこれまで以上に活発におこなわれた。</p> <p>活動する生徒の割合が増え、各部の活動が活発になったが、卓球部を除いて好成績を収めるまでには至らなかった。</p> <p>部活動参加率は微増であった。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>体育行事の見直しについてはさらに検討する。</p> <p>保護者の学校行事等への参加機会を増やすよう検討する。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>学校全体として、さらに活発な活動ができるよう工夫する。</p> <p>各種大会・コンクールで好成績を収められるよう指導する。</p> <p>さらに部活動参加率を高める工夫する。</p>
<p>家庭との連携強化をはかる</p>	<p>○学校ホームページの活用を通し、家庭に向けての情報発信の頻度を向上させる。</p> <p>○家庭との確実な連絡を行うために新たな手段を検討する。</p> <p>○保護者会の出席者を増やすため、開催日時の変更など保護者が参加しやすくなるよう検討する。</p> <p>○保護者会で取り扱う話題を精選し、より意義深い会となるよう工夫する。</p>	<p>学校ホームページを活用し、家庭向けの情報発信を行えたか。</p> <p>家庭との確実な連絡体制の構築ができたか。</p> <p>保護者会の保護者の参加状況が改善したか。</p> <p>保護者会を意味深い会とすることができたか。</p>	<p>保護者・在校生向けのページを開設したが、情報の発信頻度はさほど多くなかった。</p> <p>家庭との確実に連絡を取る体制の構築までには至らなかった。</p> <p>土・日曜の開催はできなかった。</p> <p>保護者会の雰囲気は大きく変わったが、参加者の増加には至らなかった。</p>	<p>B</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>B</p>	<p>保護者・在校生向けのページの更新頻度を上げ、保護者、生徒にとって有益な情報発信に努める。</p> <p>より確実に家庭と連絡がとれるシステムの研究・導入をすすめる。</p> <p>保護者の参加は増えたものの、参加しやすい日程での開催を再度検討する。</p> <p>保護者会の内容を精選して、より多くの出席を見込める内容で実施できるよう努める。</p>

2	効果的な生徒指導を着実に実践する	<p>○年間の生徒指導計画を策定し、計画的な指導を行う。</p> <p>○年間指導計画に基づく月間指導目標を設け、指導に当たる。</p> <p>○「生徒指導だより」等の発行を通して、生徒及び保護者に指導目標の周知を図る。</p> <p>○人権教育教室を通して、生徒の人権意識を高めるよう指導する。</p> <p>○交通安全教室を通して、生徒の交通安全に対する意識を高めるよう指導する。</p> <p>○防犯・非行防止教室を通して、生徒の防犯意識の高揚を図る。</p> <p>○薬物乱用防止教室を通して、薬物乱用防止の啓発を図る。</p> <p>○教育相談体制を整備し、生徒が相談しやすい体制を作る。</p> <p>○いじめに関するアンケートを定期的の実施し、いじめ等の早期発見につなげる。</p> <p>○生徒の問題行動に対して、全教員が一丸となって迅速に対応する。</p>	<p>指導計画を策定し、効果的な指導が行えたか。</p> <p>月ごとの目標達成状況の評価と改善を行ったか。</p> <p>家庭に対して、指導計画、目標を周知ができたか。</p> <p>人権教室を実施し、生徒の人権意識を高めることができたか。</p> <p>交通安全教室を実施し、効果的な交通安全指導が行えたか。</p> <p>防犯・非行防止教室を実施し、生徒の防犯意識を高めることができたか。</p> <p>薬物乱用防止教室を実施し、効果的な薬物乱用防止指導が行えたか。</p> <p>生徒が安心して相談できる雰囲気全校あげて作り出すことができたか。</p> <p>いじめに関するアンケートを実施し、いじめ防止に努めたか。</p> <p>生徒指導上の問題行動に対して、迅速に対応できる体制を構築できたか。</p>	<p>年間指導計画に基づき、月間指導目標を定め指導効果を上げた。</p> <p>月間指導計画が明確に示されたが、生徒への周知ができていない面があった。</p> <p>家庭に対して、指導計画、月間目標などの周知させる取り組みを行えなかった。</p> <p>人権教育を実施することができた。</p> <p>交通安全教室を実施し、生徒の交通安全意識の向上が図れた。</p> <p>防犯・非行防止教室を実施し、効果的な指導ができた。</p> <p>薬物乱用防止教室を実施し、生徒の薬物乱用防止に対する意識向上が図れた。</p> <p>生徒が安心して相談できる環境整備が不十分な面があり、生徒の要望に応えられない面があった。</p> <p>いじめアンケートは実施したが、実施回数が少なかった。</p> <p>生徒指導部が中心となり、問題行動に対応できる体制ができた。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>B</p>	<p>引き続き実践。</p> <p>月ごとの指導目標が生徒に徹底されるよう指導を強化する。</p> <p>「生徒指導だより」の定期的な発行等を通して生徒・保護者への周知を図る。</p> <p>より効果的な指導となるよう指導方法・教材を精選する。</p> <p>より効果的な指導となるよう指導方法・教材を精選する。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>より効果的な指導となるよう指導方法・教材を精選する。</p> <p>さらに生徒が相談しやすい環境を構築するよう努める。</p> <p>いじめ防止アンケートの実施回数等を工夫し効果を高める。</p> <p>担任・学年が対応できない場合の体制を明確にする。</p>
3	生徒の適性を見極めた確実な進路実現を目指す	<p>○3年間を見据えた進路指導計画を策定する。</p> <p>○各年次の年間指導計画を策定し、長期的視点に立った進路指導体制をつくる。</p> <p>○生徒進路希望状況を把握するため定期的に進路希望調査を行う。</p> <p>○日常的な面談を通して進路希望の把握に努め、進路指導に役立てる。</p> <p>○各年次に合わせた適切な進路行事の企画、運営を行う。</p> <p>○進路指導室の資料を、量的・質的に充実させる。</p> <p>○進路指導室を有効に活用できるようにさらに整備を進める。</p> <p>○外部業者による進路説明会等の行事をより効果的なものとするよう研究協議する。</p> <p>○他校の進路指導体制を研究するための資料収集を行う。</p> <p>○進路LHRを行うに当たり、全教員が共通認識の元指導できるような体制を構築する。</p> <p>○大学進学希望者の進学相談、補講体制を強化する。</p> <p>○就職希望者に対する相談や面接指導などをきめ細かく行う。</p>	<p>年間指導計画を策定し、長期計画に基づく指導を行ったか。</p> <p>年次ごとの指導計画を策定し、計画的な指導を行えたか。</p> <p>定期的な進路希望調査を実施し、生徒個々の状況把握が行えたか。</p> <p>生徒の適性を見極め、適切な進路指導を行えたか。</p> <p>学年ごとの進路行事は、回数、時期共に適切で効果的なものとなったか。</p> <p>生徒向け進路資料は、質的・量的にも適切なものであったか。</p> <p>進路指導室が有効に活用され、効果的な進路指導を行えたか。</p> <p>外部業者による進路行事の内容は、適切なものとなったか。</p> <p>他校の進路指導体制の研究・情報収集を行い、活かすことができたか。</p> <p>進路LHRにおいて、教員の共通認識の元で指導を行えたか。</p> <p>進学希望者への指導が、適切に行われ、効果を上げていたか。</p> <p>就職希望者への指導が、適切に行われ、効果を上げていたか。</p>	<p>年間指導計画に基づき効果的な指導成果を上げた。</p> <p>年度ごとの指導計画に基づく指導を行い効果を上げた。</p> <p>定期的な進路希望調査が行われ、生徒把握に活用できた。</p> <p>生徒個々の適性を見極め、進路指導で大きな成果を上げた。</p> <p>昨年と比べ進路行事が精選され、より効果的な指導を展開できた。</p> <p>進路指導室や各教室の進路資料は全ての生徒のニーズにあったものが用意されている状態ではなかった。</p> <p>進路指導室を活用する生徒が限定的であった。</p> <p>外部業者の進路行事の精選を行ったため、昨年以上に効果的指導となった。</p> <p>他校の進路指導の情報収集が十分に行えず、活用するまでに至らなかった。</p> <p>進路LHRの内容について、進路指導部から具体的な指示に懸ける部分があった。</p> <p>大学希望者にきめ細かい継続的な指導を行った結果、進学者数は例年並みとなった。</p> <p>就職希望者にあきらめない継続的な指導を行った結果、就職希望者の大半で内定を得られた。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>年間指導計画を見直し、より効果的な指導計画を策定する。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>引き続き実践。</p> <p>生徒のニーズに合った資料精選を行う。</p> <p>より多くの生徒が活用しやすい進路室となるよう工夫する。</p> <p>外部業者との連携を密にし、より指導効果の高い行事とするよう工夫する。</p> <p>引き続き情報収集・研究を行う。</p> <p>進路指導部がリーダーシップを発揮し、教員間で共通の認識が持てるよう工夫する。</p> <p>生徒・保護者の進路希望をしっかりと把握するよう努める。</p> <p>引き続き実践。</p>

4	適切な学習環境を維持する	<p>○各HR教室や特別教室の美化を徹底する。</p> <p>○月ごとの定期点検を行、校内の不良箇所の早期発見、対応を行う。</p> <p>○生徒が積極的に清掃活動を行えるよう指導を工夫する。</p>	<p>各自の管理責任教室の管理は適切に行われていたか。</p> <p>月ごとの定期的な点検を適切に行い、学習環境の維持に役立ったか。</p> <p>各クラス及び清掃担当分担の生徒の清掃指導を適切に行い、校内美化に努めたか。</p>	<p>各自が責任を持って維持管理に努めた。</p> <p>日常点検、月間の安全点検をおこない学習環境の維持が図られた。</p> <p>教員間に共通の指導方針が浸透し、実践されていた。</p>	A	引き続き実践。
	健康及び衛生面の実践力を強化する	<p>○「保健だより」を定期的に発行し、健康に関する情報を発信する。</p> <p>○「生活改善教室」を実施し、生徒の生活改善に努める。</p> <p>○保健掲示板を活用し、生徒にとって有益な情報発信に努める。</p> <p>○生徒が健康相談などで活用しやすい環境整備を進める。</p> <p>○保健室利用のルールを徹底し、生徒が安心して来室できる環境を維持する。</p>	<p>「保健だより」の定期的な発行を行えたか。</p> <p>「生活改善教室」を実施できたか。</p> <p>保健室掲示板を活用し、生徒に対して適切な情報提供を行えたか。</p> <p>生徒が健康相談のしやすい体制を作り、環境整備を進められたか。</p> <p>保健室利用のルールを生徒に徹底し、適切な保健室運営を行えたか。</p>	<p>定期的な情報発信を行った結果、生徒の健康意識が向上した。</p> <p>「生活改善教室」を実施し、生徒の各自の生活についての意識を高めることができた。</p> <p>保健掲示板を活用し、効果的な情報発信が行えた。</p> <p>生徒が安心して相談できる環境整備を行ったが、生徒の要望に応えられない面があった。</p> <p>保健室利用のルールが徹底され、適切な保健室運営が図られている。</p>	A	引き続き実践。
	学校の安全を確保する	<p>○三校合同防災訓練の実施効果を高めるため各校で連携を強化して、指導効果を高める。</p> <p>○緊急時対応マニュアルを見直し、全教職員が共通認識を持って対応できる体制づくりを進める。</p>	<p>三校合同避難訓練を実施し、生徒の防災意識向上を図れたか。</p> <p>緊急時対応の見直しを行えたか。</p>	<p>雨天のため三校合同での避難訓練は実施できなかったが、本校単独で、効果的な指導ができた。</p> <p>既存の方法以外の新たな緊急時対応は確立されなかった。</p>	B	三校での協力体制を構築するよう努める。
	Cコースの学習活動のさらなる向上	<p>○出席状況の芳しくない生徒へ登校を促し、出席率を高めるよう工夫する。</p> <p>○Cコースとしてのレポート指導の在り方を研究実践し、合格率を高める。</p> <p>○定期試験受験者数を増やし、単位修得率を高い水準で維持できるよう努める。</p> <p>○Cコースならではの特別活動をより魅力的なものとし、参加率を上昇させる。</p> <p>○特別活動の事前指導の在り方を再検討し、より効果的な指導となるよう工夫する。</p>	<p>Cコース生の出席状況、単位修得状況に改善がみられたか。</p> <p>Cコースの特性を生かした指導の在り方を研究し、レポートの合格率が向上したか。</p> <p>指導の成果が、テストの得点に反映されているか。</p> <p>Cコースの特別活動の参加率が向上したか。</p> <p>Cコースの特別活動の在り方を再検討し、効果的な指導を実現できたか。</p>	<p>出席状況、単位修得状況に改善はみられず、成果としては横ばいであった。</p> <p>全教員に共通の指導方針が浸透し、実践されていたが、レポートの合格率は半年並みであった。</p> <p>定期試験受験者の得点状況がわずかながら好転した。</p> <p>参加率は概ね半年並みであった。</p> <p>事前指導は行ったものの、高い指導効果を得られるほどの時間確保ができなかった。</p>	B	殊に出席状況の改善を図る方策を研究・実践する。
5	効果的な研修を実施する	○コンプライアンス研修を行い、学校不祥事を起こさない環境づくりをすすめる。	コンプライアンス研修を実施できたか。	コンプライアンス研修を実施し、効果を上げた。	B	年間計画に教員研修の計画を組み入れ、研修機会を増やすよに努める。
		○学校カウンセラーと連携し、教員の教育相談スキルの向上を図る。	学校カウンセラーとの連携が図れたか。	スクールカウンセラーとの連携する機会が少なく、効果的な指導につなげられなかった。	C	スクールカウンセラーとの連携体制を構築する。
		○外部研修の案内を積極的におこない、教員の資質向上を図る。	外部研修に参加する教員が増え、教員の資質向上が図れたか。	外部研修に参加する教員はいなかった。	D	教員が外部研修に参加しやすい環境を整える。
		○登校型通信制にあったスクーリングの在り方を研究する。	登校型通信制に合ったスクーリングの在り方を研究し、実践したか。	登校型スクーリングの新しい形の研究した。	B	引き続き登校型通信制にあったスクーリングについて研究を進める。
6	効果的な研修を実施する	○登校型通信制にあったスクーリングの在り方を研究する。	登校型通信制に合ったスクーリングの在り方を研究し、実践したか。	登校型スクーリングの新しい形の研究した。	B	引き続き登校型通信制にあったスクーリングについて研究を進める。
		○コンプライアンス研修を行い、学校不祥事を起こさない環境づくりをすすめる。	コンプライアンス研修を実施できたか。	コンプライアンス研修を実施し、効果を上げた。	B	年間計画に教員研修の計画を組み入れ、研修機会を増やすよに努める。
		○学校カウンセラーと連携し、教員の教育相談スキルの向上を図る。	学校カウンセラーとの連携が図れたか。	スクールカウンセラーとの連携する機会が少なく、効果的な指導につなげられなかった。	C	スクールカウンセラーとの連携体制を構築する。
		○外部研修の案内を積極的におこない、教員の資質向上を図る。	外部研修に参加する教員が増え、教員の資質向上が図れたか。	外部研修に参加する教員はいなかった。	D	教員が外部研修に参加しやすい環境を整える。